



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 イー・ギャランティ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8771 URL <https://www.eguarantee.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江藤 公則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 邨井 望 (TEL) 03-6327-3609
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,298	7.4	3,172	12.5	3,235	15.1	2,211	20.2
2022年3月期第3四半期	5,864	10.7	2,819	23.2	2,811	22.2	1,840	23.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,333百万円(18.0%) 2022年3月期第3四半期 1,977百万円(27.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	46.89	45.53
2022年3月期第3四半期	39.61	38.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	26,416	21,295	74.0	413.84
2022年3月期	25,256	19,716	71.9	387.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,558百万円 2022年3月期 18,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 4円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	11.5	4,150	11.2	4,200	11.7	2,750	11.6	58.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料6ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	47,261,800株	2022年3月期	46,845,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,534株	2022年3月期	1,434株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	47,160,214株	2022年3月期3Q	46,462,899株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きがみられております。また、景気の先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、原材料価格の上昇や供給面での制約等により、依然として不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、2022年の企業倒産件数は前年比6.0%増加の6,376件（帝国データバンク調べ）となりました。各種給付金や実質無利子・無担保の制度融資などが奏功し、企業倒産の抑制につながっていましたが、企業倒産件数は2022年5月以降、8ヵ月連続で前年同月比増加となっており、引き続き倒産動向に注視する必要があります。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。ウクライナ情勢による先行きの不透明さや、物価上昇による債権額の増加に対する債権保全ニーズの高まりに対応すべく、営業人員の増員をはじめとした営業体制の強化を行いました。また、新規拠点の開設と各拠点の配属人員の増加を行っていきことで、これまで取り込めていなかった地方顧客の取り込みを強化してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における保証残高は1兆65億円（前年同期比34.7%増加）、保証債務は6,444億円（前年同期比17.8%増加）となり、売上高は6,298,706千円（前年同期比7.4%増加）となりました。また、営業利益3,172,309千円（前年同期比12.5%増加）、経常利益3,235,068千円（前年同期比15.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,211,390千円（前年同期比20.2%増加）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の2023年3月期連結業績予想に対する進捗率はそれぞれ77.0%、80.4%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、26,416,155千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、18,399,581千円となりました。これは、有価証券が1,200,000千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて44.2%増加し、8,016,573千円となりました。これは、投資有価証券が1,985,655千円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、5,120,837千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、5,005,554千円となりました。これは、未払法人税等が329,684千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と同額の115,282千円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、21,295,318千円となりました。これは、利益剰余金が993,447千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2022年5月13日に公表いたしました売上高8,800百万円、営業利益4,150百万円、経常利益4,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,750百万円から変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の見通しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,295,011	16,688,700
売掛金	75,267	89,869
有価証券	1,200,000	—
前払費用	974,048	1,367,358
未収入金	31,680	83,443
その他	119,548	170,210
流動資産合計	19,695,557	18,399,581
固定資産		
有形固定資産	1,381,386	1,770,245
無形固定資産	125,027	155,544
投資その他の資産		
投資有価証券	3,426,737	5,412,392
繰延税金資産	257,533	257,533
その他	369,831	420,858
投資その他の資産合計	4,054,102	6,090,783
固定資産合計	5,560,516	8,016,573
資産合計	25,256,073	26,416,155
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,253	18,042
未払法人税等	699,475	369,791
前受金	3,877,049	3,810,918
保証履行引当金	433,856	438,898
賞与引当金	200,000	108,399
預り金	32,587	59,227
その他	169,610	200,277
流動負債合計	5,423,832	5,005,554
固定負債		
長期末払金	115,282	115,282
固定負債合計	115,282	115,282
負債合計	5,539,115	5,120,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,509,710	3,713,164
資本剰余金	2,919,710	3,123,164
利益剰余金	11,729,322	12,722,770
自己株式	△877	△877
株主資本合計	18,157,864	19,558,220
新株予約権	155,261	152,737
非支配株主持分	1,403,831	1,584,360
純資産合計	19,716,958	21,295,318
負債純資産合計	25,256,073	26,416,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,864,137	6,298,706
売上原価	1,272,188	1,234,690
売上総利益	4,591,948	5,064,015
販売費及び一般管理費	1,772,838	1,891,705
営業利益	2,819,110	3,172,309
営業外収益		
受取利息	9,460	17,472
持分法による投資利益	—	43,569
その他	1,314	1,967
営業外収益合計	10,774	63,009
営業外費用		
持分法による投資損失	18,020	—
雑損失	31	250
営業外費用合計	18,051	250
経常利益	2,811,833	3,235,068
特別利益		
投資有価証券売却益	—	26,012
特別利益合計	—	26,012
特別損失		
固定資産除却損	385	10,626
特別損失合計	385	10,626
税金等調整前四半期純利益	2,811,447	3,250,454
法人税等	833,964	916,460
四半期純利益	1,977,482	2,333,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	137,231	122,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,840,251	2,211,390

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,977,482	2,333,994
四半期包括利益	1,977,482	2,333,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,840,251	2,211,390
非支配株主に係る四半期包括利益	137,231	122,603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬としての新株の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ203,454千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,713,164千円、資本剰余金が3,123,164千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。